

平成15年8月25日
専門小委員会資料

分野ごとの課題

第三小委員会

農林水産部会

農政分科会・農業委員会分科会

林業分科会

水産分科会

課 題

1 農業従事者の減少と高齢化に対応した生産体制の整備

農業をめぐる環境変化により農業従事者は急速に減少しており、当地域では農家数、農業就業人口とも20年前の6割台まで落ち込んでいる(表1、2計)。これが地域営農を支える担い手の不足につながり、耕作放棄地面積は年々増加してきている(表3)。

このような農業従事者の減少に伴い、経営体の構造変化も進んでいる(表1、2内訳)。大きく減少しているのは、戦後の農業を支えてきた一種兼業で、代わって主に高齢者の担う二種兼業が大多数を占めるようになり、地域農業を面的に支える役割を果たしつつある。また、少数ながら積極的に農業に取り組む専業農家等もあり、この両者での二極化が進行しつつあるとみられる。このような状況のもと、今後は集落などを単位とした組織化を推進して地域農業の根底を支える生産体制の整備に努めるとともに、認定農業者その他の担い手育成を図る必要がある。

一方、農業従事者の減少に伴い、当地域でもゆるやかな農地集積が進んでいる(表4)。今後とも農地の流動化を推進してこのような傾向を助長し、担い手への農地集積を促すことにより、環境変化に耐える足腰の強い生産体制を整備することが必要である。

なお、地区・市町村を越えた出入作が増加しつつある現状から、今後は広域的な観点での生産体制の整備、農地の流動化も課題となる。

表1 専兼別農家数

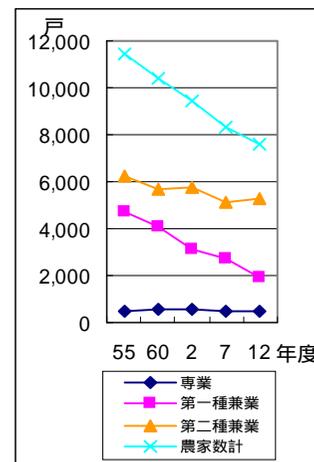


表2 年齢別農業就業人口

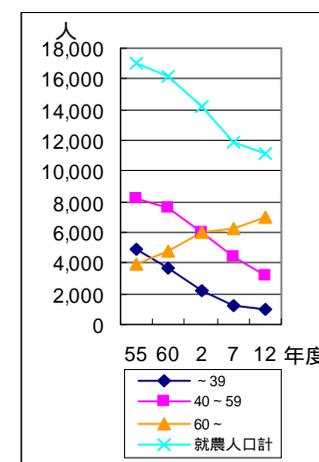


表3 耕作放棄地面積

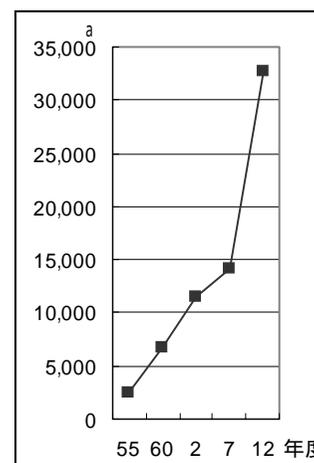
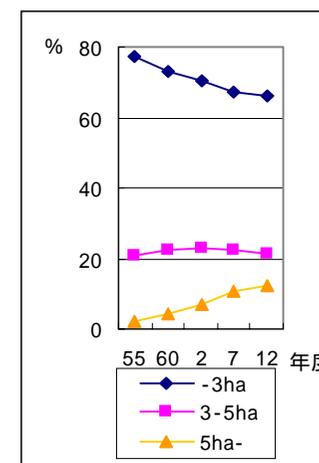


表4 耕地規模別農家の比率



課 題

2 水田農業の再編

米消費の低下に伴って、現在も全国的な米の需給不均衡が続いている。昭和40年代から実施されている生産調整は、当地域でも3割程度に達し(表1)、なお継続されることとなっている。また需給の不均衡と産地間競争の激化により米価は下落を続け(表2)、これが米を基幹作物とする当地域の農業所得の減少に直結し、稲作中心の農業基盤を揺るがす事態となっている。このような状況のもとで、当地域でも生産調整の枠内で稲作所得の確保に努める一方、土地利用型作物の栽培を積極的に推進し、水田利用の維持と所得確保に努めることが課題となっている。

当地域における生産調整の現状としては(表3)、特に平坦部で大豆の作付けが急速に拡大しているが、これは国の助成金によって支えられている面があり、また栽培技術や品質などの面でなお課題を抱えている。一方、その他の野菜等については、市町村によっては積極的な取組みが見られるものの、全体としては伸び悩みの状態にある。このため、今後とも大豆面積の維持拡大と安定化を図るとともに、それぞれの地域特性に応じて、所得に結びつく畑作、野菜などの振興を図ることが必要となっている。

また、昨年12月の米政策改革大綱に基づき、国の水田農業に関する新たな施策方針が示されつつあり、当地域においてもこれをもとにして効果的な支援策を講じる必要がある。

表1 H15 転作率

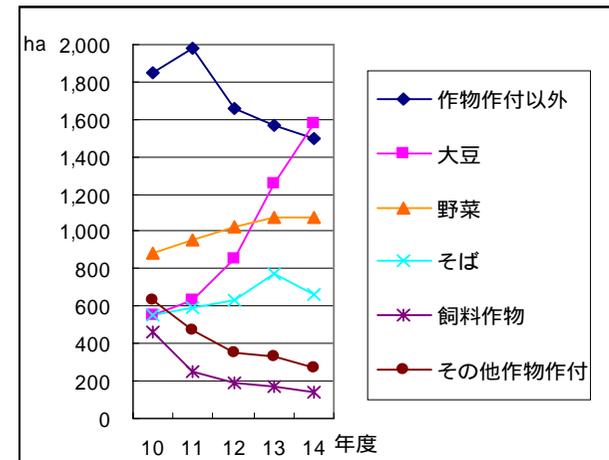
市町村	転作率(%)
鶴岡市	31.4
藤島町	27.7
羽黒町	33.4
朝日村	35.0
櫛引町	31.1
三川町	28.6
温海町	36.0
庄内南部	31.0
山形県	32.4

表2 庄内産はえぬき価格

年度	価格(円/60kg)
6	20,745
7	19,456
8	18,895
9	17,751
10	18,761
11	16,480
12	15,653
13	15,830
14	15,383

(米価は自主米価格の各入札時における平均価格)

表3 態様別の生産調整実施面積



課 題

3 高付加価値化と経営多角化の推進

生産額の面から当地域の農業をみると（表1）、依然として米が基幹作物となっているが、近年の米価低迷によりその生産額は著しく減少し、これが農業生産額全体の減少につながっている。また米以外では、畜産が従事者の高齢化などにより減少する一方、野菜類は拡大しているものの伸びはゆるやかであり、果実も横這い状態となっている。このように、米に代わる品目への転換が遅れている現状のもとで、さらに輸入農産物の増加や産地間競争の激化などにより、地域農業は常に不安要因を抱えている。

このため、今後とも地域特性を活かした複合品目への取組みを促進するとともに、有利販売を目指した戦略的生産の推進や、高付加価値の特産品開発などにより、販売力の強い農業の実現に努める必要がある。一方では、従来のような大消費地への出荷だけでなく、地産地消の意識の高まりに積極的に対応する形で、地元における安定的な需要の確保に努めることも必要である。

また近年、当地域でも農業者による直接販売が注目されるようになり、現在は14の直売団体が活動している（表2）。直接販売だけでなく、新規作物の導入、加工品の開発、販路確保などさまざまな面で農業者がみずから創意を發揮し、その結果を自身にフィードバックすることでさらなる経営意欲が生まれることが期待されるため、このような起業者グループを積極的に支援し、地域農業の活性化を図る必要がある。

表1 農業粗生産額の推移

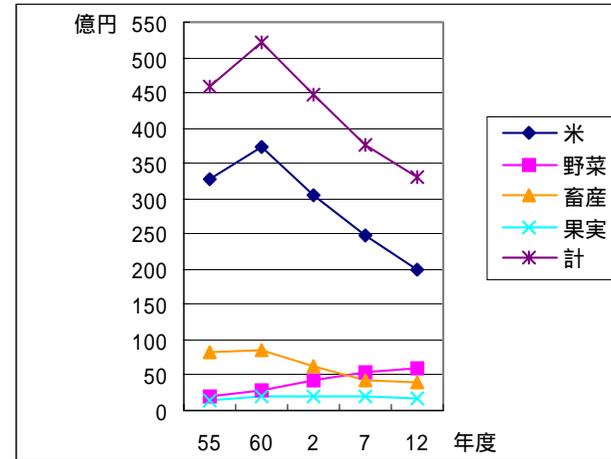


表2 庄内南部地域の直売団体

市町村	数	概要
鶴岡市	4	百万石の里しゃきっとほか
藤島町	2	ぼっぼの湯農産物直売所ほか
羽黒町	3	ゆぽかふれあい市場ほか
櫛引町	1	産直あぐり
三川町	1	物産館マイデル
朝日村	1	ぼんぼ内ふれあい市場
温海町	2	しゃりん、農家レストラン・キラリ
計	14	

庄内直売パワーアップ推進協議会の構成団体

課 題

4 環境との調和と消費者理解の促進

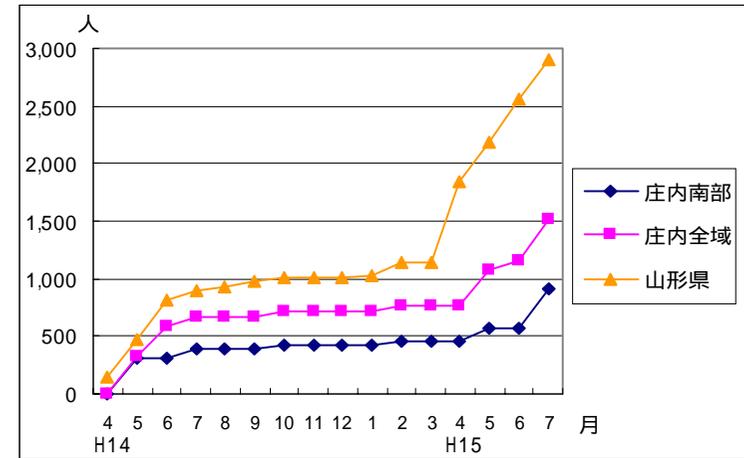
近年、環境への関心が世界的に高まっており、産業全般に対して環境保全への取組みが日常的に求められるようになってきている。農業分野に関しても、悪臭、廃棄物などいわば公害の抑制に加えて、農薬・化学肥料による環境負荷の低減や、食品としての安全性確保に関する要求がますます高まっており、有機・特別栽培など環境保全型農業による生産方式が新たな付加価値として認識されるようになってきている。

これに対し、当地域でも持続農業法に基づくエコファーマー認定に積極的に取り組むなどの対応が行われており（表）、今後とも環境保全型農業を積極的に推進して、消費者に支持される生産方式の確立に努める必要がある。また有機性廃棄物を農地などに還元する体制を整備して適正処理に努めると同時に、農産物生産の基盤ともなる土づくりに活用していく必要がある。

一方、近年の残留農薬問題、BSE、産地偽装などによって、国内農産物の生産者、流通業者に対する消費者の信頼が損なわれている。このため、農業者にも安全に関する一層の意識向上を促すとともに、安全農産物生産流通体制の整備に積極的に取組み、消費者の信頼を勝ち取ることが必須となっている。

さらに、農業の存在意義について広く消費者・市民の理解を促し、将来にわたって農業への支持が得られるよう、さまざまな方法で農業農村への関心と理解を高めていく必要がある。

表 県内のエコファーマー認定者数



課 題

5 農業生産基盤の効率な整備と施設の適正管理

ほ場整備や基幹的水利施設の整備は、概ね完了しているが、昭和39～47年に国営事業により造成された取水及び灌漑施設は、30年以上経過し老朽化による機能低下が見られるため、施設の改修、更新等の対策を講じる必要がある。すでに最上川水系では、H5～13に国営事業により、頭首工、基幹施設等の改修事業が一部行われている。

また、これら農業水利施設の管理は、主に土地改良区が財産を引き継ぎ、維持管理を行っているが、米価の低迷、農家人口の減少等により、管理体制の脆弱化が見られることから、その強化が課題となっている。

農道整備においては、営農形態が稲作主体の経営から、転作田における大豆、枝豆、野菜、花卉、果樹等との複合経営に移行するに伴い、利用時期の通年化、流通経路の多様化が見られるとともに、農村における生活空間の広域化により、利便性への要求が高まっていることから、農道整備による効率かつ利便性の高いネットワーク形成と農道管理体制の構築が課題となっている。

施設の改修・更新が予想される主な事業

施工年度	事業名	事業概要	関係市町村及び土地改良区
S39～S49	国営赤川農業水利事業	頭首工1ヶ所、揚水機場1ヶ所、幹線用水路52,794m	鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、三川町、朝日村、赤川連合、青龍寺川、中川、天保大川、因幡堰
S42～H1	同上 付帯県営かんがい排水事業	用水路79,373m、排水路32,158m、揚水機場3ヶ所	同上
S26～S36	県営青龍寺川用排水改良事業	稲生分水工、他	鶴岡市 青龍寺川

管理農道の延長(H15,3)

単位:km

	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	温海町	合計
延長	341.3	160.0	50.3	121.6	124.6	20.0	0	817.8

その他農道(法定外構造物等)、土地改良区管理農道を除く

課 題

6 農地防災・保全対策の強化

中山間地域に点在する、明治～昭和30年代に造成され、土地改良区等の管理団体が介在していない中小のため池は、地理的条件の厳しいところであり、老朽化が進行する一方、過疎化、高齢化に伴い、地元による管理体制が事実上崩壊しているケースが多く見られ、堤体のひび割れによる漏水や桶管の損傷による濁水流出などの被害が発生している。

また、耕作放棄地の増加に伴い、ほ場や山地排水の受け皿となる農業用排水路の機能維持が困難となり、農業生産基盤だけではなく、防災の面からも、施設の保全と管理体制の構築が課題となっている。

ため池台帳(県)に記載されている池数(H15,6月現在)

	市町村、土地改良区による管理	その他(個人、生産組合 他)	合 計
鶴岡市	9	27	36
藤島町	2	5	7
羽黒町	8	5	13
櫛引町	4	2	6
三川町	0	0	0
朝日村	5	16	21
温海町	0	2	2
合計	28 (33%)	57 (67%)	85 (100%)

課 題

7 農村及び中山間地域の生活環境基盤整備と活性化方策

農村及び中山間地域の環境整備は、農村総合整備事業や農業集落排水事業等の生活排水処理対策の実施により、基礎的整備はかなり図られている。

しかし、中山間地域においては、過疎化、高齢化が進行し、耕作放棄等による農業基盤の機能不全や、自然環境、地域文化への影響も懸念されることから、定住環境を更に整備し、集落機能の維持向上を図るために、尚一層の継続事業の実施が望まれる。

また、平成12年度から実施された中山間地域等直接支払制度も三年を経過し、集落協定に基づき生産活動を継続することにより集落機能の維持と耕作放棄地の防止並びに農地の多面的機能の保全等に貢献している。

今後とも、これらの制度等を活用し、集落の活性化に向け集落営農等の強化を図りながら、土地利用調整機能の拡充による耕作放棄地の防止等への取り組みが必要である。

農業集落排水事業の整備状況(平成15年6月 庄内総合支庁農村計画課)

	行政人口	計画人口	整備人口 (現住)	/ 整備率	備 考
鶴岡市	99,245	10,938	2,716	24.8%	
藤島町	12,310	4,918	3,591	73.0%	
羽黒町	9,776	5,566	4,908	88.2%	
櫛引町	8,571	3,140	3,012	95.9%	事業完了
三川町	7,870	3,003	2,964	98.7%	事業完了
朝日村	5,810	1,930	1,894	98.1%	事業完了
温海町	10,646	1,511	979	64.8%	
合計	154,228	31,006	20,064	64.7%	

中山間地域等直接支払の協定面積等(平成14年度)

	協定 総数	参 加 農家数	協定面積 (m ²)
鶴岡市	23	313	2,022,222
藤島町	-	-	-
羽黒町	14	125	1,858,669
櫛引町	9	184	1,672,629
三川町	-	-	-
朝日村	35	872	7,778,181
温海町	21	566	4,042,919
合計	102	2,060	17,374,620

	課 題
8	<p>優良農地の確保と効率的利用の推進</p> <p>優良農地の確保については、農振法における農業振興地域整備計画、農地法等の法令等に基づき、各市町村並びに各農業委員会においてそれぞれ適正な運用並びに農地の管理指導を行っているが、市町村によって運用に幅があることも事実である。このため合併後は、すみやかに統一された農業振興地域整備計画を策定し、農振除外並びに農地転用に関する統一された運用基準に基づいて事務を執行するとともに、地域住民に対する十分な説明と理解を得ることが課題である。</p> <p>また農地の効率的利用の推進については、対象地区が広範囲になることから、農業委員会及び農業団体による連携体制をより強化し、土地利用調整機能の充実を図る必要がある。</p>

林業分科会の課題について

農林水産部会 林業分科会

	課 題																																																										
1	<p>森林資源(木材)の利用促進と森林の整備(森林資源の循環利用)</p> <p>庄内南部地区市町村の全面積 1,344 km²の 71.4%を森林が占め、森林面積として 95,986haとなり、その内訳として国有林 50,824ha、民有林 45,162haとなっている。</p> <p>戦後植林した人工林の蓄積は充実しているが、輸入材の影響で木材価格が低迷していることから適正な伐採が進んでいない状況である。今後、林業家の高齢化や生産意欲の低下で森林活動が停滞し民有林の森林管理の放棄が進み森林の荒廃が危惧される。</p> <p>森林・林業の持続的発展を維持するためには、森林の適正な整備と保全を確保し、森林資源を次世代に引き継ぐことが重要な課題である。</p>	<p>(表1)各市町村の森林面積、林野率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">市町村名</th> <th rowspan="2">面積(km²)</th> <th colspan="3">森林面積(ha)</th> <th rowspan="2">林野率(%)</th> </tr> <tr> <th>国有林</th> <th>民有林</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>234</td> <td>511</td> <td>9,753</td> <td>10,264</td> <td>43.9</td> </tr> <tr> <td>藤島町</td> <td>63</td> <td>387</td> <td>697</td> <td>1,084</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>羽黒町</td> <td>110</td> <td>2,133</td> <td>2,531</td> <td>4,664</td> <td>42.6</td> </tr> <tr> <td>櫛引町</td> <td>80</td> <td>1,704</td> <td>2,143</td> <td>3,847</td> <td>48.0</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>33</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>朝日村</td> <td>569</td> <td>39,466</td> <td>13,844</td> <td>53,310</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td>255</td> <td>6,623</td> <td>16,194</td> <td>22,817</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,344</td> <td>50,824</td> <td>45,162</td> <td>95,986</td> <td>71.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>民有林：公有林、私有林、公社造林地、緑資源公団造林地の総称。</p> <p>三川町の町有林は新潟県山北町にあるため山形県の統計には含まれない。</p> <p>資料：面積は、平成11年全国都道府県市区町村別面積調(建設省国土地理院総務庁統計局)</p> <p>森林面積及び民有林人工林面積は、山形県林業統計(H13)</p>	市町村名	面積(km ²)	森林面積(ha)			林野率(%)	国有林	民有林	計	鶴岡市	234	511	9,753	10,264	43.9	藤島町	63	387	697	1,084	17.1	羽黒町	110	2,133	2,531	4,664	42.6	櫛引町	80	1,704	2,143	3,847	48.0	三川町	33	-	-	-	-	朝日村	569	39,466	13,844	53,310	93.7	温海町	255	6,623	16,194	22,817	89.3	計	1,344	50,824	45,162	95,986	71.4
市町村名	面積(km ²)	森林面積(ha)			林野率(%)																																																						
		国有林	民有林	計																																																							
鶴岡市	234	511	9,753	10,264	43.9																																																						
藤島町	63	387	697	1,084	17.1																																																						
羽黒町	110	2,133	2,531	4,664	42.6																																																						
櫛引町	80	1,704	2,143	3,847	48.0																																																						
三川町	33	-	-	-	-																																																						
朝日村	569	39,466	13,844	53,310	93.7																																																						
温海町	255	6,623	16,194	22,817	89.3																																																						
計	1,344	50,824	45,162	95,986	71.4																																																						

林業分科会の課題について

農林水産部会

林業分科会

	課 題																																																		
2	<p>林業担い手育成</p> <p>(1) 林業後継者</p> <p>林業家は零細かつ小規模であり、集落的にも分散している。木材価格の低迷で生産意欲が低下しており、林業後継者が育っておらず、高齢化が進む一方である。また、中山間地域の過疎化も進行し、森林所有者の不在村化によって、森林の整備や森林管理の放棄が進み森林の荒廃が危惧される。</p> <p>平成 14 年度から 5 カ年計画で、森林整備地域活動支援交付金制度が実施されており、その効果が期待されている。</p> <p>森林整備地域活動支援交付金 : 1haにつき1万円</p> <p>(2) 森林組合</p> <p>現在の森林組合は、各地域の個々の林業家の調整機能を担い、森林施業の実施を推進し、森林整備の中心的な役割を果たしている。</p> <p>林業家の高齢化や担い手不足の現状を考えると、森林組合組織が林業家の役割を担うことも期待される。</p>	<p>(表2) 林家数及び林業就業者の推移 単位:世帯、人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">市町村名</th> <th colspan="2">林家数(世帯)</th> <th colspan="2">林業就業者(人)</th> </tr> <tr> <th>H2</th> <th>H12</th> <th>H2</th> <th>H12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>2,448</td> <td>964</td> <td>94</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>藤島町</td> <td>349</td> <td>111</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>羽黒町</td> <td>439</td> <td>92</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>櫛引町</td> <td>764</td> <td>310</td> <td>9</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>65</td> <td>8</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>朝日村</td> <td>1,080</td> <td>902</td> <td>56</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td>1,500</td> <td>769</td> <td>57</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,645</td> <td>3,156</td> <td>233</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table> <p>林家:保有山林面積が1ha以上の世帯。 資料:国勢調査、世界農林業センサス</p>	市町村名	林家数(世帯)		林業就業者(人)		H2	H12	H2	H12	鶴岡市	2,448	964	94	43	藤島町	349	111	2	4	羽黒町	439	92	15	15	櫛引町	764	310	9	17	三川町	65	8	-	1	朝日村	1,080	902	56	30	温海町	1,500	769	57	26	計	6,645	3,156	233	136
市町村名	林家数(世帯)			林業就業者(人)																																															
	H2	H12	H2	H12																																															
鶴岡市	2,448	964	94	43																																															
藤島町	349	111	2	4																																															
羽黒町	439	92	15	15																																															
櫛引町	764	310	9	17																																															
三川町	65	8	-	1																																															
朝日村	1,080	902	56	30																																															
温海町	1,500	769	57	26																																															
計	6,645	3,156	233	136																																															

林業分科会の課題について

農林水産部会

林業分科会

	課	題
3	<p>生産基盤の整備</p> <p>庄内南部地区市町村の林道の整備状況については、林道密度の平均が 6.15m/ha であり、庄内地区の林道整備目標である 12.26m/ha の約 50%程度である。林道は効率的な林業経営の展開や、森林の適正な維持管理にとって必要不可欠な施設であり、また、山村の生活環境の整備、地域産業の振興にとって重要な役割を果たしていることから、林道の整備促進を図ることが必要である。</p> <p>特に、今後林業家の高齢化、不在村化に対処する方策として、経営体育成の中での高性能林業機械の導入も視野に入れると、林道網の整備は、重要な課題となっている。</p>	
4	<p>特用林産物の活用</p> <p>特用林産物は、森林の恵みを生活の中に取り入れた産物であり、森林の多様性を反映して種類は非常に多い。また、中山間地域の貴重な収入源であり、女性及び高齢者の就労の場ともなっており、重要な役割を果たしている。農業、林業とともに、山村地域経済を支える地域産業となっている。</p> <p>生産物は増加傾向にあるものの、生産者の高齢化や山村地域の過疎化の進展により、後継者・林業経営体等、特用林産物を巡る状況は厳しさを増している。」となっている。</p> <p>参照 平成13年度の生産量は全で 863t であり、占める割合が高いものは「なめこ 33.6%」「生しいたけ 20.3%」「やまぶどう 20.3%」となっている。</p>	

林業分科会の課題について

農林水産部会 林業分科会

	課 題																																																																									
5	<p>森林の保護</p> <p>松くい虫やナラ枯れ等の病虫害も年々増加の傾向を示しており、予防や駆除に対応しきれない状況である。特に、庄内砂丘の砂防林は、防風防砂により背後地の農作物を保護する上で重要な機能であり、又、砂丘の美しい松林は庄内特有の景観を呈しており、保全すべき遺産でもある。これらの病虫害から森林を維持するための防除体制の強化は重要な課題である。</p> <p>一方、サルやシカ等の野生鳥獣等の食害も増加しており、共存に配慮した被害防止対策も求められている。</p>	<p style="text-align: center;">(表3)松くい虫被害 単位:m³</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">市町村名</th> <th style="width: 20%;">H10</th> <th style="width: 20%;">H12</th> <th style="width: 20%;">H14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td style="text-align: center;">1,758</td> <td style="text-align: center;">1,939</td> <td style="text-align: center;">1,858</td> </tr> <tr> <td>藤島町</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">167</td> </tr> <tr> <td>羽黒町</td> <td style="text-align: center;">462</td> <td style="text-align: center;">293</td> <td style="text-align: center;">447</td> </tr> <tr> <td>櫛引町</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>朝日村</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td style="text-align: center;">401</td> <td style="text-align: center;">174</td> <td style="text-align: center;">183</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">2,688</td> <td style="text-align: center;">2,462</td> <td style="text-align: center;">2,665</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">山形県森林課調べ</p> <p style="text-align: center;">(表4)ナラ枯れ被害 単位:本</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">市町村名</th> <th style="width: 20%;">H10</th> <th style="width: 20%;">H12</th> <th style="width: 20%;">H14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td style="text-align: center;">720</td> <td style="text-align: center;">4,741</td> </tr> <tr> <td>藤島町</td> <td></td> <td style="text-align: center;">380</td> <td style="text-align: center;">1,185</td> </tr> <tr> <td>羽黒町</td> <td></td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">418</td> </tr> <tr> <td>櫛引町</td> <td style="text-align: center;">241</td> <td style="text-align: center;">820</td> <td style="text-align: center;">2,585</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">537</td> </tr> <tr> <td>朝日村</td> <td style="text-align: center;">2,649</td> <td style="text-align: center;">8,160</td> <td style="text-align: center;">17,497</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">620</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">2,978</td> <td style="text-align: center;">10,200</td> <td style="text-align: center;">27,583</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">山形県森林課調べ</p>	市町村名	H10	H12	H14	鶴岡市	1,758	1,939	1,858	藤島町	57	46	167	羽黒町	462	293	447	櫛引町	10	10	10	三川町				朝日村				温海町	401	174	183	合 計	2,688	2,462	2,665	市町村名	H10	H12	H14	鶴岡市	58	720	4,741	藤島町		380	1,185	羽黒町		30	418	櫛引町	241	820	2,585	三川町	30	90	537	朝日村	2,649	8,160	17,497	温海町			620	合 計	2,978	10,200	27,583
市町村名	H10	H12	H14																																																																							
鶴岡市	1,758	1,939	1,858																																																																							
藤島町	57	46	167																																																																							
羽黒町	462	293	447																																																																							
櫛引町	10	10	10																																																																							
三川町																																																																										
朝日村																																																																										
温海町	401	174	183																																																																							
合 計	2,688	2,462	2,665																																																																							
市町村名	H10	H12	H14																																																																							
鶴岡市	58	720	4,741																																																																							
藤島町		380	1,185																																																																							
羽黒町		30	418																																																																							
櫛引町	241	820	2,585																																																																							
三川町	30	90	537																																																																							
朝日村	2,649	8,160	17,497																																																																							
温海町			620																																																																							
合 計	2,978	10,200	27,583																																																																							

水産分科会の課題について

農林水産部会 水産分科会

No	課 題																																																																																	
1	<p>沿岸漁業の振興</p> <p>近年の水産業を巡る情勢は、二百海里体制に伴い漁場が狭くなったことにより、沿岸域での過剰漁獲や海洋環境の悪化による漁獲量の減少、担い手の減少・高齢化の進行、そして輸入水産物の増加等による魚価の低迷等により総じて厳しい状況に直面している。</p> <p>(1) 水産資源の適正な保存管理</p> <p>限られた漁場など悪条件の中で、獲れるだけ獲るような漁業を続けていけば資源は枯渇し衰退する。将来にわたり安定した漁獲が得られる漁業を推進していく必要がある。</p> <p style="text-align: center;">(表1) 年 間 漁 獲 量 単位：t</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成5年</th> <th>平成6年</th> <th>平成7年</th> <th>平成8年</th> <th>平成9年</th> <th>平成10年</th> <th>平成11年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td style="text-align: center;">2,430</td> <td style="text-align: center;">1,927</td> <td style="text-align: center;">2,066</td> <td style="text-align: center;">2,169</td> <td style="text-align: center;">2,484</td> <td style="text-align: center;">1,705</td> <td style="text-align: center;">1,947</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td style="text-align: center;">1,880</td> <td style="text-align: center;">1,655</td> <td style="text-align: center;">1,789</td> <td style="text-align: center;">1,861</td> <td style="text-align: center;">1,557</td> <td style="text-align: center;">1,316</td> <td style="text-align: center;">1,542</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">4,310</td> <td style="text-align: center;">3,582</td> <td style="text-align: center;">3,855</td> <td style="text-align: center;">4,030</td> <td style="text-align: center;">4,041</td> <td style="text-align: center;">3,021</td> <td style="text-align: center;">3,489</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 栽培漁業の推進</p> <p>現在、山形県栽培漁業センターでアワビ、クルマエビ、ヒラメ等の種苗を生産し、山形県漁業協同組合で中間育成して放流しているが、磯見漁等一定の成果を上げている。今後、魚価等も含め新たな放流魚種の検討を進め、栽培漁業の推進を図っていく必要がある。</p> <p style="text-align: center;">(表2) 魚 種 別 放 流 量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">アワビ (千個)</th> <th colspan="3">クルマエビ (千尾)</th> <th colspan="3">ヒラメ (千尾)</th> </tr> <tr> <th>平成8年</th> <th>平成10年</th> <th>平成12年</th> <th>平成8年</th> <th>平成10年</th> <th>平成12年</th> <th>平成8年</th> <th>平成10年</th> <th>平成12年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td style="text-align: center;">106.5</td> <td style="text-align: center;">61.7</td> <td style="text-align: center;">126.0</td> <td style="text-align: center;">304.2</td> <td style="text-align: center;">202.0</td> <td style="text-align: center;">188.5</td> <td style="text-align: center;">65.3</td> <td style="text-align: center;">57.7</td> <td style="text-align: center;">55.3</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td style="text-align: center;">200.6</td> <td style="text-align: center;">174.0</td> <td style="text-align: center;">142.0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">190.0</td> <td style="text-align: center;">199.6</td> <td style="text-align: center;">56.9</td> <td style="text-align: center;">54.8</td> <td style="text-align: center;">54.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">307.1</td> <td style="text-align: center;">235.7</td> <td style="text-align: center;">268.0</td> <td style="text-align: center;">304.2</td> <td style="text-align: center;">392.0</td> <td style="text-align: center;">388.1</td> <td style="text-align: center;">122.2</td> <td style="text-align: center;">112.5</td> <td style="text-align: center;">109.9</td> </tr> </tbody> </table>		平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	鶴岡市	2,430	1,927	2,066	2,169	2,484	1,705	1,947	温海町	1,880	1,655	1,789	1,861	1,557	1,316	1,542	合 計	4,310	3,582	3,855	4,030	4,041	3,021	3,489		アワビ (千個)			クルマエビ (千尾)			ヒラメ (千尾)			平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年	鶴岡市	106.5	61.7	126.0	304.2	202.0	188.5	65.3	57.7	55.3	温海町	200.6	174.0	142.0	0	190.0	199.6	56.9	54.8	54.6	合 計	307.1	235.7	268.0	304.2	392.0	388.1	122.2	112.5	109.9
	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年																																																																											
鶴岡市	2,430	1,927	2,066	2,169	2,484	1,705	1,947																																																																											
温海町	1,880	1,655	1,789	1,861	1,557	1,316	1,542																																																																											
合 計	4,310	3,582	3,855	4,030	4,041	3,021	3,489																																																																											
	アワビ (千個)			クルマエビ (千尾)			ヒラメ (千尾)																																																																											
	平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年																																																																									
鶴岡市	106.5	61.7	126.0	304.2	202.0	188.5	65.3	57.7	55.3																																																																									
温海町	200.6	174.0	142.0	0	190.0	199.6	56.9	54.8	54.6																																																																									
合 計	307.1	235.7	268.0	304.2	392.0	388.1	122.2	112.5	109.9																																																																									

No	課 題																				
	<p>(3) 漁業及び漁業の担い手に関する現状</p> <p>鶴岡市・温海町の漁業就業者数は、平成10年度のセンサスで60歳以上の漁業者の占める割合が約54.5%になっており、漁業就業者の減少と漁業者の高齢化が進んでおり、水産業の振興及び漁村の活性化を図る上で大きな課題となる。</p> <p>鶴岡市の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業就業者数 304名 ・全漁業者中、60歳以上の漁業者の占める割合 52.6% <p>温海町の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業就業者数 177名 ・全漁業者中、60歳以上の漁業者の占める割合 56.5% <p>(表3) 全漁業就業者数と()内は60歳以上の漁業就業者数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="331 810 1473 991"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和58年</th> <th>昭和63年</th> <th>平成5年</th> <th>平成10年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>664(128)</td> <td>467(121)</td> <td>328(141)</td> <td>304(160)</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td>274(86)</td> <td>238(96)</td> <td>209(112)</td> <td>177(100)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>938(214)</td> <td>705(217)</td> <td>537(253)</td> <td>481(260)</td> </tr> </tbody> </table> <p>水産基本政策政策大綱に基づき、平成14年度に鶴岡市・温海町で各々に制定した担い手育成計画に基づき、漁業共同改善計画を策定した2団体が県より中核的漁業者協業体に認定され活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡地区漁友会ダイビング部会(構成員11名、由良地区) ・底曳網漁業経営改善研究会(構成員49名、鼠ヶ関地区) 		昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	鶴岡市	664(128)	467(121)	328(141)	304(160)	温海町	274(86)	238(96)	209(112)	177(100)	合 計	938(214)	705(217)	537(253)	481(260)
	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年																	
鶴岡市	664(128)	467(121)	328(141)	304(160)																	
温海町	274(86)	238(96)	209(112)	177(100)																	
合 計	938(214)	705(217)	537(253)	481(260)																	

No	課 題
	<p>(4) 水産基盤の整備</p> <p>漁港の改修等</p> <p>鶴岡市で三瀬漁港、油戸漁港の2港、温海町で鈴漁港、暮坪漁港、温福漁港、大岩川漁港、小岩川漁港、早田漁港の6港を管理し、漁船の入出港の安全航行等を図るため、改修を行ってきた。</p> <p>しかし、昭和30～40年代に改修してきた漁港も老朽化し静穏度や荷捌きに支障をきたしており、再整備が必要となってきた。</p> <p>老朽化に伴い改修を要する漁港</p> <p>鶴岡市：油戸漁港 三瀬漁港</p> <p>温海町：早田漁港 小岩川漁港 鈴漁港、暮坪漁港、温福漁港、大岩川漁港</p> <p>魚礁の設置</p> <p>水産資源の増殖を図り、漁場の生産力を高めることを目的として、国、県からの補助を受けながら魚礁を設置している。</p> <p>平成14年度までの設置基数</p> <p>鶴岡市：約15,000基 温海町：約11,000基</p> <p>魚礁付近では底曳網漁ができないなどの問題があり、設置場所、設置の効果について、県水産試験場の指導を受け、設置していく必要がある。</p>

No	課 題																				
2	<p data-bbox="197 252 472 292">漁村地域の活性化</p> <p data-bbox="197 328 2130 416">漁獲量の減少、魚価の低迷などにより漁業者の収入は頭打ちの状態になっている。この地域は温泉や海水浴場等の観光資源に恵まれており、観光客と水産業を結びつけた水産物の加工品等販売により漁業収入の確保を図っていく必要がある。</p> <p data-bbox="327 435 1420 467">(表4) 1 経営体平均年間漁獲金額 単位：千円</p> <table border="1" data-bbox="306 472 1447 652"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和58年</th> <th>昭和63年</th> <th>平成5年</th> <th>平成10年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>10,770</td> <td>7,830</td> <td>6,550</td> <td>7,650</td> </tr> <tr> <td>温海町</td> <td>6,160</td> <td>5,300</td> <td>5,480</td> <td>7,300</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,710</td> <td>6,590</td> <td>6,040</td> <td>7,490</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="197 719 595 751">(1) 体験型観光漁業とその定着</p> <p data-bbox="221 775 2145 860">毎年7、8月は底曳網漁の休漁期であるが、ダイビングや船釣りなど海洋レジャーを楽しむには最適な時期でもある。漁業の担い手育成のためにも、この時期に安定した収入が得られる新たな事業開拓が必要である。</p> <p data-bbox="197 940 423 971">(2) 特産品の開発</p> <p data-bbox="221 995 2152 1080">漁業者の収入増を図るため、地域特産魚種の加工品や、商品価値の低い魚の加工品、学校給食等で使えるような大量に生産できる加工品の開発が必要である。</p> <p data-bbox="76 1166 147 1471">3</p> <p data-bbox="197 1171 472 1203">内水面漁業の振興</p> <p data-bbox="221 1246 2152 1331">主だった河川には各々漁業協同組合、生産組合が事業活動しており、漁業権料や遊漁料を徴収し、アユ、サケ等の稚魚放流を行うと共に漁業資源の保護につとめている。</p> <p data-bbox="221 1355 2152 1439">特に、赤川鮭漁業生産組合や庄内小国川では、鮭のふ化事業やアユの中間育成事業に取り組み、種苗育成を図っており、又、内水面魚種の拡大もめざしている。これらの資源を利用した活用方策が期待される。</p>		昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	鶴岡市	10,770	7,830	6,550	7,650	温海町	6,160	5,300	5,480	7,300	合 計	8,710	6,590	6,040	7,490
	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年																	
鶴岡市	10,770	7,830	6,550	7,650																	
温海町	6,160	5,300	5,480	7,300																	
合 計	8,710	6,590	6,040	7,490																	